

第3回 下小岩小学校・下小岩第二小学校 統合準備委員会 議事録（要旨）

【日 時】

令和4年5月17日（火）19時15分～19時50分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【主な内容】

(1) 統合に係る諸課題について

両校の統合に向けて学用品、校章、校歌について優先的に検討を行っている。
そのほか、学校やPTAに関わることについても適宜検討を進めている。

(2) 学校統合・改築の進捗について

統合については、スケジュール通り準備を進めているところである。改築については、下小岩小の敷地内に7月下旬から仮設校舎の建設工事を計画している。仮設校舎は2階建てで、12月に完成予定である。また、既存校舎内の一部改修も行う。
校名案は昨年に「下小岩小学校」と選定された。6月の区議会に諮って決定となる予定。
校章は、新しい通学帽への印刷を予定しているため、優先して検討を進めてきた。校章デザインは本日の会で正式決定する。
校歌は、両校で検討を進めている。進捗については次回の会で報告する。

(3) 学用品の検討状況について

学用品は、新しい通学帽と名札は今年度の1～5年生に対して区から支給予定である。
また、体育着や上履きなど現行品を継続して使用できるものは支給対象外となる。
通学帽のサイズ調査は10月頃に実施し、来年の3月に配布ができるよう計画している。
そのほかの学用品についても、両校を通じて周知する予定である。

(4) 通学路について

統合にともなう通学区域の変更については、下小岩小と下小岩第二小の通学区域をひとつにまとめる形となる。学校選択制で定めている区の通学距離の上限は自宅から学校までの直線距離で1.2km以内としている。今回の新通学路は、この範囲内ですべて収まっているため、通学距離の延伸にともなう通学区域の変更は行わないこととなる。
新通学路について、令和5年4月から7年3月までは現在の下小岩小への通学路となる。下小岩第二小に通う児童については通学路が変わることとなる。保護者からご意見があれば修正を行い、その後、10月以降に警察、土木部、教育委員会による合同点検を行うことでソフト面、ハード面での整備を進めていく。
令和7年4月以降、現在の下小岩第二小の敷地に建設される新しい下小岩小への通学については、令和6年度中に新たな通学路を設定することとなり、現在の下小岩第二小に通う児童は元の通学路に戻る形を想定している。

【意見交換内容】

- ・通学路について区のルールがあると理解したが、下小岩第二小は区域外から通ってくる児童が一定数いる。その場合にこの通学路の考えはどうなるのか。
⇒区域外から通っている児童がいることは把握している。基本的に学校選択時に通学区域の案内をしており、学校が通学の責任を負うのは通学区域内である。通学区域外については保護者の責任で安全管理をしていただくこととなり、通学区域内に入ったあとは学校の責任となるという考えである。新しい下小岩小の通学区域に入るまでは保護者の責任で管理をしていただく必要がある。(事務局)
- ・通学路について、辰巳新橋を渡って真っ直ぐ行けばフラワーロードにつながると思うが、今回示されている通学路でその道が使われていないのには理由があるのか。
⇒通学路として指定する道の数が増えると安全管理上支障が出ることが考えられる。特にPTAの皆さんの旗振り当番、見守りに関しては通学路が増えると、その分だけチェックポイントが増えてしまう。学校との協議もあり、なるべく通学路はシンプルにしてPTAの負担は減らしたいという思いもある。今回お示ししたものはあくまでも案という形であるため、もし強い要望があれば今一度現地を確認して安全上問題がないか確認し、ルートを増やすという可能性もある。(事務局)

PTA 部会・学校部会について

- ・今後どのようなPTAが必要かを考えたときに、PTA部会としての提案を両校の保護者へ投げかけたいと考えている。
PTAとして「大人たちを笑顔に、子どもたちも笑顔に」というミッションを掲げつつ、地域、学校、保護者をつなぐ役割をPTAが担っていくべきだと考える。新しい組織を立ち上げるにあたり、賛同してくれる方を集めて、その中から規約を作る方、会費を集める方、リーダーになる方など様々な役職の担い手が必要になる。子どもがより楽しく、地域、保護者、学校が一緒になって活動できるよう前向きに考える組織が望ましい。一緒になって新しいPTAを作ってくれる方を集めるためにアンケートを実施する。
- ・学校が統合することで、いろいろなものを作り直さないといけないのだと感じている。学校を運営していくうえで様々な場面でPTAには応援してもらいたい。PTAには見守りの役割もあるのでぜひ存続してほしい。
- ・PTAという組織が必要なのかどうかはアンケートを行ったうえで検討してほしいし、一緒に考えたい。また、両校の児童交流については親しみを持った活動ができるようにしていきたい。新しい体制でスムーズに動き出せるよう柔軟に考えたい。

以上